マンガの師走

歳末はつらひ　川原くにを

夫「出かけに、そんな菓箱なんぞ包んで、どうするんだい！」
妻「この暮に空手では不景気よ」

福引強盗　深谷　　

強盗「おい、くじを引きねえ、あたッたら、何か置いてくぜ」

花嫁さんトタンに——　畫　けんぢ

眼科醫の戀　小原榮治

「ミア、最後の字まで讀めますか——」

いいカモだや　田代秀

執達吏の風邪ひき　畫　六作

師走風

粂平内（12）

小金井蘆洲　演
福田勇　書

津和野小町（一）

粂平内はその翌日から、草木も眠るといふ夜の丑滿時に、毎夜毎夜人目を忍んで屋敷を脱け出し、不動尊へ參り、合掌禮拜いたしながら、

『もし不動樣、私はこのお江戸の中で生れた者、いはば不動樣とは親類同樣の間柄、云々斯樣々々で、是非とも江戸へ乘り出したいと心得ます。平内兵衛長守が一生のお願ひでござる。』

と、一心不亂に斷願に及んで、丁度九十九日の間、雨の夜も風の夜も、一夜も缺かさず參詣をいたしまして、いよ／＼今夜が滿願の百日目となりました。

平内兵衛長守は鬱たる暗き森の中、只一つの常夜燈が仄かに點つて、物凄い眞闇の闇を、とぼ／＼と不動尊へ近づき、その前にうづくまり、

『さて今宵こそは、いよ／＼滿願の當日でござります。何卒願望を叶へ給へ、南無大日大聖不動明王、矜羯羅童子、制吒迦童子……』

と、一心籠めて祈つて居る。その時に、

『あれッ――。』

闇の中から、絹を裂くやうな女の聲。

はッと思つて平内は、首をめぐらし其邊を見廻したが、折しも秋の末のこと、サラ／＼と落ちた檜の一葉二葉、別に怪しい物も見えない。

『たんだ馬鹿な、今頃こんな處に女の聲のする譯はない。はゝあ、語りは自分の信心が足らぬから、人聲でもないものを人聲のやうに聞いたのであらう、これではならぬ。』

また眼を瞑いで、同じことを繰返し／＼一生懸命に祈つたが、どうも何か男同志で話すやうな聲が聞える。と、また。

『あれエッ、助けて……助けて。』

と、救ひを呼ぶ金切り聲。

今度こそは正に氣のせゐではない。猶豫と立上つた平内が、

『己れッ、不埒な奴があるものかな、今のは慥に若き女の聲、何者か女を拐帶し來つて、この靈地を汚さうとする。容赦はならぬ。』

と、忽ち怒り心頭に發し、聲をしるべに闇の中をバラ／＼ッと驅けつけて見れば、三四人の男が夜目に確とは分らぬが、一人のうら若い女を捉へて、今しも手籠にしようとする危機一髪。

義俠に富んだ平内は、物をも云はず躍り出て、一人の男の首に摑んで肩に擔ぐと得意の岩石落し、

『それッ邪魔者かッ』

『各々まづ此奴から先きに片づけて。』

『おゝ合點でござる』

答へた樣子は確に武士、闇の中に動く對手は四人だ。ギラリギラリと拔き連れた鋭な寒き氷の刃。平内は初めて叫んだ。

『いや拔いたな此奴等、豫て鍛へた我が腕前、是非一度は眞劍の刃試がして見たいと、神に願つた甲斐あつて、汝等とこの立會。代々傳はる志津三郎の銘刀、切味試すよき折なれ、刀試し、腕試し、此處は木立の足場も惡い。汝等もさぞ不自由であらう。いざ、覺悟の廣場に出て、心ゆくまで闘はん――』

『おゝ、吐かしたり此奴。廣場で勝負はもと／＼此方で望む處。その廣言の息の根を見ッ事止めて與れん』

『さらば來い』

『云ふにや及ぶ』

と、刀の目釘を濕しつゝ常夜燈の許へと進んだ。時に平内は振んで、女を顧みて、

『何れの婦人かは存ぜねど、暫く此處に潜んでお待ちなされい。拙者この不埒な奴等を片づけたその上にて、お宅まで送つて進ぜる。安心して待つて居らるゝがよい。』

と、云はれて女は、やう／＼人心づき。

『はい、誠に危い所をお助けにあづかりまして、何とお禮の申しやうもござりませぬ。』

皇紀二千五百九十六年　昭和十一年十二月六日　京城日報　（日刊）　第一萬四百三十六號
日の出
新年特大號
第一附錄
世界最新大地圖
世界各國の現勢、殊に赤露北滿國境の陣地、支那の各國艦隊狀況をも記入、更に太平洋上の國防線、軍艦勢力等も明瞭、ドイツ、伊太利、英米始各地の軍事根據地其他普通世界地圖の樣式も全部兼備せる大地圖
（附）亞細亞要圖其他
陸海軍當局閲
第二附錄
映畫大寫眞帖
附 俳優名鑑
最近の映畫界花形三百餘名場面とその筋も知る名寫眞帖、名鑑には本名住所年齡收入趣味等詳細記入す。
第三附錄
お龍妖艶記
三角寛著
美貌で勝氣で廿歲前後の美しい妖艶の女賊を追ふ奇々怪々の大捕物!!實話大長篇の本を一册附錄にしたのは雜誌界が最初の新計畫
三大附錄の外に
特價八十錢
世に處する道
內閣總理大臣 廣田弘毅
新聞記者新年初笑ひ座談會
第一線記者の體驗秘話
▼將棋新戰術講座
金子金五郎 八段
緊張と注意力
藤沼庄平
東西兄弟出世くらべ
新しき世界への飛躍
新潮社長 佐藤義亮
▼春を待つ心
吉田絃二郎
▼時事早わかり問答
阿部眞之助
夫婦牛乳の評判をとる迄
成功美談
新潮社文藝賞發表
新年娛樂智惠くらべ大會
泣き笑ひ見合ひ戰術
映畫物語
原節子物語
素人寫眞術
郵便奇談
渡り鳥物語
巨象を馴らすまで
甘黨と辛黨の利害
闘牛と競牛の話
新漫畫トンガラ君
家庭よろづ重寶帖
▼室內遊戲▼智惠くらべ▼卵の曲藝▼マッチ遊び▼頓智問答▼詰將棋▼詰碁▼ナンセンス掛合▼滑稽夢判斷▼新編いろはかるた等々
3500名當選 大懸賞あり
いよいよ評判 三大長篇！
▼冒險小說 新寶島海戰の卷
▼長篇講談 俠艶一代女
▼新作落語 息子交換
動物座談會
コドモのページ（新設）
夜光蟲
橫溝正史
母の花環
變化如來
角田喜久雄
甲武信ヶ嶽
野村胡堂
花咲く潜望鏡
新年の歌
齋藤茂吉
新揭載八大名篇！
風の女王
長篇ユーモア小說
片岡鐵兵
緋牡丹傳奇
長篇時代小說
大佛次郎
覆面の父母
吉川英治
乃木將軍
始めて發表の秘話
木村毅
人生の花束
中村武羅夫
小女郎峠
子母澤寬
天竺牡丹
純情哀婉
加藤武雄
吹雪の朝
現代小說
尾崎士郎
新潮社發行

帝國政府の對支重大決意

危險性のある土地には 自衛行動も已むなし

三省首腦部で意見一致

【東京電話】日支交渉は支那側の不誠意により事實上決裂狀態となつたので、有田外相は萬一に備へて帝國の根本方針を確立する必要を痛感し、四日午後八時半陸相官邸に寺内陸相を訪問重要協議を遂げたが、更に外務、陸軍、海軍三省の首腦部聯合會議を五日午後二時より海相官邸に開催、外務有田外相、桑島東亞局長、陸軍寺内陸相、磯谷軍務局長、海軍、永野海相、山本次官、豐田軍務局長出席、先づ有田外相より川越駐支大使の報告に基き南京交渉の經過並に支那側の眞意を報告し、外務當局の採るべき外務當局の根本方針を提示して説明を加へ陸海軍の諒解を求めた、之に對し陸海軍側より日支國交の根本對策につき重要なる意見の開陳あり、慎重協議を重ねた結果この問題は日支國交の根本に亘る重要問題であるから、現地官憲とも密接な連絡を取つて萬遺漏なき機宜の對策を講ずることゝし午後三時散會した

【東京電話】三日川越駐支大使が支那側に今次會談に關する文書を手交したることにより日支交渉は事實上打切りとなつたが、五日の政府首腦部の會議によつても解決に邁進せず、次回會見の結果如何によつて局面を展開するか否か決定的となる譯であるけれども張群外交部長、綏遠、青島事件を運用し先に我が要求條項に與へた回答の言質を翻さんと苦慮してゐるに鑑み殆ど我が要求を實行する誠意あるものと豫期し得ず、而も交渉決裂によつて早くも排日侮日の積極的運動が展開されんとする情勢にあるを以て、是が對策を樹立するため五日午後一時半から海軍大臣官邸に外務陸海三省首腦部參集、日支交渉の前後措置及び在支居留民の保護、權益擁護に關し隔意なき意見を交換し重要なる協議を行つた即ち日支交渉問題に對しては川越大使の自由裁量による打切りには全然同意であくまで之を支援し、我が要求條項に對して主義に於て或は事實に於て贊成するとの支那側の權威ある言質に基き作成し國民政府に手交した文書の實行は之を嚴重監視するが、成都、北海、上海、漢口などに於けるテロ事件の解決のみは早急に解決すべく支那側と引續き交渉するか否かの點につき協議を遂げたが、未だ斷乎たる方針は決定されなかつた、併しながら綏東問題を契機として擡頭して來た抗日運動に對する對策については重大なる意見の開陳があつた結果

一、抗日運動は國體テロ化の惡傾向を辿り初め青島事件もその一例である、テロ事件發生は事前に十分なる豫防的措置を講ずる

一、交渉決裂となり國民政府頼むに足らずとすれば、テロ行爲發生の危險性ある地には速かに警備艦隊を派遣し、或は陸戰隊を揚陸せしめて事件の豫防不擴大に努め、我が居留民の生命財産の保護、權益の擁護に當るべく青島の我が陸戰隊上陸はこの見地に基く自衛行動である、かゝる手段を講ずるのは支那側が外交的手段によつて抗日取締、テロ事件鎭壓をなし得ずとして已むなし

と云ふに意見一致し、この方針によつて今後の事態に對處することになり、その他萬一の場合に處する對策を協議して同三時散會したが、右の如き決定は帝國政府の重大なる對支決意を示すものとして注視される

國策統合機關に就て 種々協議を行ふ

四相會議

次回迄に具體的要項を決定

【東京電話】豫算編成のため中絶されてゐた四相會議は豫算編成も無事終了したので五日午前十時より藏相官邸において第四次會議を開催、馬場藏相、前田鐵相、稻畑木農相、平生文相各閣僚參集、去月十六日の申合せによる次田法制局長官の手許で作成した國策統合機關設置に關する具體案を議題としこれを中心に種々協議を重ねた

【東京電話】五日開かれた四相會議では、國策統合機關設置に關する具體案を議題とし、これを中心に種々協議を重ねたが、國策統合機關即ち內閣總務廳、經濟參謀本部に關しては次田委員以外に勝沼調査局長並に吉田前調査局長官より具體案が提出されてゐるので、問題の重大であり特に愼重を期する必要から更に比較檢討を加へることとし四相の手許でそれ〲愼重研究し次回に意見を持寄ることゝし十一時四十五分散會した、次回は前田鐵相が來る八日から十四日まで地方へ旅行に出るので十四日以後に開會することゝなつた、尙國策統合機關設置に要する經費に關しては五日の四相會議でも話題に上つたが、十一年度追加豫算に計上するか十二年度追加豫算にするかについては本案が假府に御諮詢を要する案件なので具體案を得るまでに至らなかつたが、大體次回の四相會議までに國策統合機關設置の具體的要項を決定し、來議會の協贊を得べく急速にこれに關する具體案を規定する方針である

許支那大使の抗議を 外相が一蹴

陸戰隊上陸は「自衛的措置」

有田外相（左）許大使（右）

【東京電話】青島における紡績ストライキは暴動化の虞があるので帝國海軍は去る三日青島に陸戰隊を上陸せしめ自衛的措置を講ぜしめたが、駐日支那許英世氏は本國政府の訓令に依り五日午前十一時外務省に有田外相を訪問、支那側は公安局保安隊をして取締りに當らしめてゐるに拘らず、日本側は支那の領土に陸戰隊を上陸せしめたことは不當であるから之が撤收を要求する旨抗議を提出した、之に對し有田外相は支那側は口約に反し取締の實力なく、この隙に乘じ工場より閉め出された職工は一部反日分子の煽動に乘ぜられて暴動化し、工場並に一般市民に對しても危險を及ぼす惧れあるので帝國政府は自衛措置として陸戰隊を上陸せしめ自主的に居留民の保護に當ることとなつたものである、從つて支那側より何等の抗議を受くべき筋合ではないと一蹴、更に日支交渉問題に就ても懇談を重ね正午會見を終了した

川越大使 上海到着

【上海五日同盟】川越大使は夫人、令息同伴、田尻、曾禰各書記官、須磨總領事並に南京領事、中原南京陸海軍武官を隨へ、五日午後二時二十分南京より上海に到着した

ピオ十一世の容態急變

【ヴアチカン五日同盟】ローマ教皇ピオ十一世は近來兎角健康勝れなかつたが四日夜來容體に變化を來し五日朝の御朝餐にも遂に姿を見せなかつた、何分八十歲の高齡だけに氣遣はれてゐる

事務的折衝は 依然進まず

近く更に會見を行ふ

【南京五日同盟】川越張群第八次會談に基づく事務的折衝は五日午前十一時より須磨總領事高宗武亞洲司長の間に行はれ午後一時終了した、右折衝の內容は極秘に附されてゐるが、我が方は既定方針に則り速かに諸問題を解決するやう督促したるに對し、支那側は日本側の主張に對する國民政府の見解を述べ諒解を求め、結局兩者の意見が一致を見るに至らなかつた模樣で近く第二次會見を行ひ事務的交渉を續けることゝなつた

事態を憂慮した市民は閣議前後首相官邸前に詰め寄せ各閣僚の出入りを見守つた政府は更に七日午前十時卅分閣議を開催する筈である

有田外相は英國大使の內容を初め日本の輿論の詳細報告を了し、五日洛陽に飛び蔣介石氏に同樣報告することゝなつた

王參事官が張 蔣兩氏に報告

【上海五日同盟】駐日大使王參事官は南京に歸省後張群外交部長に

中村總領事 台北に赴く

【廣東五日同盟】中村廣東總領事は五日午後一時廣東發香港着、同夜香港發郵船高崎丸で林總督以下總督府首腦部と會見の豫定である、尙中村總領事は兩三日台北滯在の上福州に渡り同地より飛行機で上海に飛び、川越大使に南支の情勢を報告打合せする筈である

家計米價採用 最低基準に關し

きのふ農林省が發表

【東京電話】農林省では來る十六日米穀統制委員會を開催、本米穀年度の標準公定米價を決定することゝなつたが、本年度は物價騰貴の傾向により最高價格も昨年度より少くとも一圓乃至引上げられることになつたので、是が抑制のため米穀統制法制定以來四年目で初めて家計米價を採用することゝなり是が最低基準價に關し五日左の如く發表した

▲農林省發表 農林省に於ては米穀統制法施行令第六條第二項の規定により左記の旨告示することとせり

米穀統制法施行令第三條第一項の家計米價の算定に用ふべき同令第六條第二項の割合は、一割以內に於て農林大臣之を定むること

事務檢閲

本府の各道事務檢閲は年內には行はず、明年一月或は三月までに黃海道の事務檢閲を行ふこととなつた

遞信辭令 （五日付）

▲京城貯金管理所主計課長遞信書記永百人同所總務課長を命ず▲同所貯金課長遞信書記前田武明同所主計課長を命ず▲同所在勤遞信書記塚本耕平同所貯金課長を命ず

御結婚をめぐる論議は 大英帝國は今や 重大難局に逢着

憲法上の抗爭に迄發展

【ロンドン五日同盟】エドワード八世の御結婚を繞る論議は遂に憲法上の抗爭にまで發展し、大英帝國は今や重大難局に逢着するに至つた

難局を前に 皇弟ヨーク公殿下は四日午前十時バッキンガム宮殿に赴かれ、更に午後首相の下に派遣遊ばされる等皇族方の御活動を極めてゐるが、他方ボールドウイン首相は早朝ダウニング街の首相官邸においてホア海相、チェンバレン藏相等內閣の首腦を招き更に午前十時半緊急閣議を開催、下院に出席するのと異り時間のほかは四日は殆ど終日閣議を續開して頻り首腦を續けてゐる、目下の形勢は寧ろ益々に破れその他

消息筋の 報によれば、エドワード八世は三日深夜遂にメリー皇太后、皇弟ヨーク公殿下と御會見後ボールドウイン首相に對して「身分違ひの結婚」を提示遊ばされたと云はれる、首相は直ちに御反對申上げ更に閣議に自ら御眞意を飜意なさらず必要あらばを首相を召さ四日午後に至り下院において「身分違ひの結婚」に反對を言明すると共に、皇帝に對しても右の趣き言上申上げた樣子である、從つて今や

一、皇帝が御主張を固執遊ばされて內閣を罷免するか
一、御退位を決意されるか
一、乃至結婚を取止め遊ばされるか

三つの中 何れかに歸着するほかない形勢にあり、內閣總辭職を遊ばされる場合には恐らくチャーチル氏に後繼內閣組閣の大命が下るのではないかと解されるが、下院においては勞働黨が自由黨の少數分子が皇帝を支持してゐるのみに過ぎず、大勢はあくまでボールドウイン首相を支持してゐるから皇帝と雖も强硬策に出ることは出來ぬものと觀測される、更に首相側に自治領の強硬決意に徵しても皇帝は內閣を罷免せられることは萬あるまいと見られる、問題の女性シンプソン夫人は既にロンドンを退去した結果、皇帝は遂に

御結婚を 斷念遊ばされたとの觀測も四日夕來漸次有力化し危機は既に解消したとの說さへ傳へられるが、不幸にして以上の觀測を裏書する根據はない、他方皇帝は四日終日ベルヴエデイリヤ離宮に遷居遊ばされたことから既に退位を御決意、首相にも御通達を了されたと云はれるが問題は慮明せず、シンプソン夫人の退去についても皇帝は全く御自由に最後手段を盡されるため一時大人を遠ざけさせられたに過ぎぬとの見方が有力である、結局皇帝の御日常の御言質に徵し事態こゝに至つた以上、皇位の威信を保持する

御退位の ほかあるまいと言はれるか、萬事はエドワード八世の御決意如何にあり、こゝ暫くは不安狀態が續くのではないかと解される、ボールドウイン首相は四日午後六時宮廷に伺候してエドワード八世に拜謁後、夜は官邸にサイモン內相を招致して法律上の諸問題について協議したが、更に五日午前臨時閣議を開催自治領各政府との打合せ內容につき協議した上、最後的に解決案を提出する段取りで、首相は七日下院に一切の經緯を報告する筈で週末チェッカースの別莊に赴かぬ樣子だが、最早週末には情勢に進展がない樣子である

國民の敬慕 ヨーク公に集中

【ロンドン四日同盟】皇帝陛下の御進退は依然として不明だが、退位御決定の場合御即位されるヨーク公、同妃兩殿下は溫和な御性質であり國民敬慕の的となつてゐる、特に今回の如き重大問題に當り最も有力な役割を演ずる宗教界方面ではヨーク公に多大の期待を示し、宗教界方面では「皇帝は人間にある內的素質の醇化でなければならぬ」との見解を表明、特にヨーク公妃殿下の如き方を皇后に戴くことに賛成してゐる

皇帝離宮にお籠り

【フオトベルヴエデイリヤ四日同盟】エドワード八世陛下は四日午前一時バッキンガム宮殿より御歸還、午前二時御就寢遊ばされたが同七時御平常通り御起床の上何れへか御出かけになつたが間もなくベルヴエデイリヤ離宮に御閉ち籠り遊ばされ御日課の御散策も御取止め深く御憂念の御模樣に拜された、午後六時五分ボールドウイン首相が伺候凡そ一時間に亘り御內談申上げた、次いでカンタベリー大僧正が拜謁仰付けられた、皇帝の御心境については知る由もないが終日御閉ち籠り遊ばされた事實より見て既に御退位を御決意ボールドウイン首相にその旨御申出になつたのではないかとも傳へられる

イギリス政府 緊急閣議

【ロンドン五日同盟】ボールドウイン首相は五日土曜に拘らず午前十時ダウニング街十番地の首相官邸に緊急閣議を招集憲法上の重大難局を前に協議に入つた、閣議に先立ちボールドウイン首相は特にサイモン內相を招致し長時間に亘り何事か重要打合せを遂げたが、閣議席上ボールドウイン首相は四日エドワード八世陛下に拜謁した內容を逐一報告、約四十分に亘り緊急事態に處する對策を練つた

總務廳の强化は 熟慮を要する

熱海の別邸で 馬場藏相は語る

（寫眞は馬場藏相）

【熱海電話】未曾有の大豫算編成を終つた馬場藏相は久し振りに週末休養のため五日午後二時十四分新橋驛發列車にて熱海の別邸に赴き、二泊の上七日午前中に歸京するが別邸內で次の如く語つた

國策 統合機關については度々四相會議を開いたが未だ結論を得てゐない、出來るだけ年內に具體案を得たいと思つてゐる、國策統合機關を設置すると云ふ點は異論はない所だが、之を如何なる形態に於て設けるかと議論の多い點で、軍部の參考案の外に三長官からも參考案が出てゐるが、總務廳の設置はその內に含まれる部局に關して色々異論があるやうだ、それにしても總務廳を

總理 大臣の補助機關とすべきか又は閣の合議制である內閣に屬すべきかの根本問題については十分研究を要する點であつてこの點が先決問題である、軍部方面では國策統合機關を總理大臣の補助機關としたい方針らしいが、さうなれば所謂經濟參謀本部についても所謂經濟參謀會議は總務廳の中に含まれることになるだらう、所謂經濟參謀本部については各國の例によれば經濟諮問會が主體となつて單に立案報のみならず、或る程度の執行權を有してゐるが我國の現狀からすればこの行方は困難である

結局 經濟參謀本部とするためには總務廳を擴充しなければならない、豫算局を總務廳のうちに設けると云ふ意見は國策豫算の編算を取扱ふだけの意味と思ふが、査定權も與へることになれば結局現在の主計局はいよ〱無くなるが是は實際問題として出來ないことゝ思ふ、資源局はその性質から見ても國策と重要な關係があるから總務廳の中に包含しなければならない

人事 局、法制局は含める必要はあるまい、然し唯考へなければならぬ點は總務廳に力をどの程度まで與へるかであつて、豫算局を設けて査定權を與へたり、法制局を入れたりすることになれば總務長官の力は總理大臣以上の權限を有することになつて、結局閣內統一上相當支障を來すやうなことになるから、總務廳の力を强化することは餘程考へねばならない

軍の要望する 省の廢合案

議會後に持越されん

【東京電話】中央行政機構に關する四相會議は先づ國策統合機關の問題に移り十一月十六日の第三次會議において所謂內閣總務廳案の大綱を決定し、これに基き次田法制局長官の手許で案を練られ近く一種の具體案を作成して四相會議に提出する方針で進んで來たが、この具體案に對して軍部、調査局側が强硬反對意見を開陳したゝめ四相會議も總務廳案再檢討を餘儀なくさるゝに至り、今年內に具體案を得ることは望み薄くなつた、その結果首相及び四相は當初の意向たる來年早々總務廳問題に關する具體案を得て議會休會明け前までに省廳合同問題に移り、これも決定しこれを以て議會に臨む意氣込みであつたが、目下のところでは四相會議においては總務廳案の作成が手一杯で省の廢合に觸れる遑もなく、從つて軍部の要望する省の廢合問題を來議會に提出出來ず、議會終了後まで持越される事となるであらう、從つて軍部はこの成行に對して如何なる態度に出るか注目されてゐる

綏遠軍事委員會を 近く組織

蔣氏の中央化工作

【北平五日同盟】綏遠戰況の發展と共に中央より增援された第十三軍湯恩伯、第三十五軍傅作義、第十三軍長湯恩伯、明鳴顴など麾下の中央軍十三ケ師は既に綏遠省內に移駐を終へ、同省內に於ける中央軍の威力漸く增大するに至り、之を機會に蔣介石氏は西北方面の中央化工作に積極的に乘出した模樣である、情報によれば蔣介石氏は今週中中央直轄機關として綏遠軍事委員會を組織せしめて閻錫山氏を委員長に、傅作義氏を副委員長に推し王靖國、趙承綬氏など地方將領及び湯恩伯、明鳴顴等中央系將領之に加へて委員會を設け、既に去る二十八日綏遠政府において第一回準備委員會を舉行、近く正式に設立を見る豫定である

東西南北

▲綏遠の三宅中將と、巨漢佐枝少將がならんで立つた、白い頭が下でゴマ鹽頭が少し高い處に掛つて動いてゐる、それは五日正午から京城府民館で開かれた兩將軍の送別會のメーンテーブルの光景である▲三宅中將は厚顏に似ぬ敏捷なことと渾名に珍しい人だが、またテーブルスピーチも妙を得てゐる▲いろ〱と京城を去るに臨んでの感想と希望とがあつた後、左に立つてゐる佐枝少將をちよいとみて、あらためて一禮、背に目ん玉をくる〱まはして「この女房ともども此の際からお禮を申します」と頭をぴよこり▲なほこの日お送りするお客名簿がちよつとこしかつた▲朝鮮軍司令部から東方面に榮轉した小川參謀部附砲兵中佐と、十九師團參謀から東京警備參謀に榮轉した小川一部步兵少佐とがチャンポンにして書いてあつたので、參會者はてどつちだらう▲名前は軍參謀の寺部中佐、憲兵師團參謀の一郎少佐▲それにしてもよく似た名前が同じ時に動いたものである（寫眞は三宅中將）

人

◇吉田鐵道局長 明年度豫算折衝のため東上中十五、六日頃歸任の筈
◇二宮憲治中佐（關東軍司令部附） 歐米視察打合のため五日東京へ
◇山田忠北警察部長 五日入城本町ホテル
◇井上江原道土木課長 五日東京へ
◇伏島鐵道局收貝係長 五日敵平壤へ
◇木下俊郎子爵 五日入城天眞樓
◇仲田眞次氏（同祕書）同上
◇川本末治氏（同上）同上

無電台

公報▲四十五回以上の投稿・原稿は紙上・宛名・御住所・氏名とこの記載は...（小字）

關釜連絡船

客扱を改めよ

◇當局所行でいつも不愉快な思をさせられるのは關釜連絡船だ、今度は嶄新船が出來たさうだが、今迄の四艘、どれもこれも客船とは名ばかり、まるで人間を貨物扱ひだ、一二等にしても便所は汚し、狹し、臭し、船の便所であの連絡船位臭いのを見た事がない

◇風呂に入れてくれと言へばイヤな顏するしそれが又狹くて不潔でロクに掃除もしてない、三等客室に至つては貨物以下だ、いくらナエリーボートだと言つても餘りひどい

◇設備の不行屆はまだ我慢するとしても、我慢のならぬのは船員の不親切と横柄ぶりだ、一等船客に向つても下級船員、ボーイ達の態度は隨分横柄だが、三等客などにはまるで警官が民衆に對する調子だ、ウツカリ遊步甲板にでも上つてゐると「降りて下さい」はまだしも「こゝに來てはいかん、降りて〱」と言つた調子、どつちが客だか分らぬ

◇一二等寢台の豫約を受附けぬのも不都合極まる、如何に電報で申込んでも船に乘つて見なければ寢台が取れないなんと言ふ不親切な商船がどこの世界にあるか、而もそれに獨行見よ、ボーイ達の態度を、チップさへ出せば寢臺はありますと言はんばかり、どれ位乘客の感情を害する事か速かに乘船切符の豫約を開始しべし、三等客など船護十人かは乘れるときさへ聞く、中には親の死目に急ぐ人の子もあらう、豫約さへ出來れば混雜も、不便も、不快もみな消し飛ぶ（滿洲浪人寄）

社説　獨逸の再認識

日獨防共協定はドイツに對する認識を更に深めるに到つたが、ドイツを再認識しやうとする氣持ちは、これを機として一層高まつて來たことは疑ひを容れるの餘地がない。これは日本人ばかりでなく、程度の差こそあれ同じ傾向にあると認め得られる。否イギリスやアメリカなどでは、既に以前からドイツ再認識の氣運が起つて居り、諸種の發見や議論も公けにされてゐる。最近では、『維新十九世紀』誌上で、エヴァンス及びウヰルソンの兩氏が同時に新らしきドイツ觀を公けにしてゐるなど注目に値する。即ちドイツといふものを、從來世界大衆が稱して來た『獨裁國』としてのドグマからばかり判斷したりすべきでなく、もつと實質的に、その眞相、實力を研究もし、認識もしなければならぬといふ考へが、冷靜な有識者の間に起つて來てゐることは見逃せぬ。

×

コンウエル・エヴアンスやアーノルド・ウイルソンにしても、矢張同樣の見解を保持して居り、殊に英國人とドイツ人との考へ方の相違から誤解の生じ易いことを云ひ、その事例を擧げドイツを極端に扱ひにすることの不合理を指摘して、復興ドイツの隆々たる生氣を讃え、イギリス人がドイツを見る眼を全く變へなければならぬといふことを力説してゐる。世人のドイツに對する疑惑は、何といつてもその新社會制度にあるのであるが、復興ドイツがこの新社會制度の下に前途の好望を期待しつゝあることは疑ひのないところであり、且それが極めて順潮に發展しつゝあることも事實であり、國民大衆がこの『順潮なる發展』に對して大なる支持を與へつゝあることも疑ひを容れる。この事についてエヴアンスは『たゞ武力や秘密警察ばかりで威嚇してゐる政府が人民一般の熱烈な支持を受けてゐる道理はない』といつてゐるのは傾聽に値する。

×

世人は又ドイツ政府の宣傳第一主義に對して疑惑を持つてゐるが、エヴアンスはドイツの實情を深く檢討した結果として、これは新興ドイツが祖國を衞る上に必要な根本手段であることを認めてゐる。即ち曰く、『一英人の國家意識は謂はゞ地面に深く根を下した樹木の如く、如何なる風雪にもびくともせぬが、ドイツ人のそれは撓やかな苗木の如く、これを外部の勢力から保護せずんば、忽ち吹倒される懼れがある。これを以て絶へず國民意識を強調し、昂揚して、進軍や觀兵式や示威運動をなす必要がある』と。即ち根を深く大地に卸してしまふまでの間は、この必要があるといふのである。何れにせよドイツについては、今後ますます愼重に研究もし觀察もし、新興ドイツの本質や本道につきての認識を深め、日獨兩國民の精神的結合の基礎を固くし、東西相睦して世界平和の建設に向つて努力する處がなければならぬ。

鮮內傍系を糾合し 朝鮮鐘紡實現せん
人絹工場の計畫に拍車を加へ 資金も五十萬圓位に

【東京支社】鴨綠江下流の濫を利用して既設パルプ會社を興した鐘紡では、今回更に朝鮮に於て濫パルプを原料とする人絹工場を計劃し、既に平壤と新義州の二ヶ所を候補地と決定、敷地の買收を行つて居るが、鐘紡が之等在朝鮮工場を如何にするか、內地本社との關係を如何にするか、內鮮一元化を目指す產業統制の見地から注目されて居たところ、目下渡鮮旅行の途上にある津田同社々長は最近在朝鮮工場を內地本社の直營とはせず別個の子會社を創立せんとする意向に傾いたと傳へられてゐる

在鮮工場を基礎に別個の子會社を創立する傾向は現に製粉、セメント、ビール等に見られるところであるが、農業から工業への轉換方針にあるとも見られる朝鮮總督府に於ても半島產業の助長の立場から、大いにこの傾向を歡迎してゐることゝて鐘紡の右の計畫は拓務省、總督府の了解の下に近く具體化する段取りにあるものと見られる、資本金五千萬圓程度の『朝鮮鐘紡』の出現も愈よ近き日であらう

平壤の鐘紡 自家發電 愈よ認可さる

鐘紡平壤工場は十月二十六日地鎭祭を擧行し建設工事に對しては目下多田工務店との間に見積りの交渉を進めて居るが、來年一月中には決定直ちに地均工事にかゝり、四月頃から本格的に着工する事に決定した、尙は工場用の電力についても自家用發電に關し遞信局に許可出願中であつたが、動力需要の大量であるのと自家發電に比し遙かに低廉な點から愈よ自家發電を認可する事となつた、發電力は八千キロで永登浦京城工場の發電力の丁度二倍である

利川線バス 合同 新會社を創立

京城利川間十三バス路線の統制に關しては各當業者及京畿道當局に於て其の具體工作が進められつゝあつたが最近に至り有力會社たる內鮮自動車の京春鐵道買收交渉が具體化によつて急速進展を見せることとなり大體資本金百萬圓（大半現物出資）を以て本年內合同新會社を設立することとなつた而して本會社合同機運擡頭の當初より問題視されつゝあつた朝鮮鐵道では新會社株の過半數を制獲りする模樣であると

石炭液化會社の 準備進捗す 工場を鮮內に二ヶ所

【東京支社發】商工省は燃料國策の見地から資本金一億圓の帝國燃料工業會社を設立することゝなつたが、之と併行して朝鮮にも石炭液化會社を設立すべく海軍、拓務兩省とも協議の結果、愈よ近く朝鮮總督府に對して具體化への折衝を開始することゝなつた 即ち該石炭液化會社の資本金は大體五千萬圓前後とする模樣で右資金は鮮內の野口氏その他資本家と帝國燃料工業會社に於て出資する方針である、なほ工場は大體鮮內に於て二ヶ所程選定することゝなるべく、右候補地の一つとして目下三陟附近が擧げられてゐる

無水酒精工業は 七百萬圓の新會社 東拓で過半數を出資

東拓を主體とする無水酒精製造は佐方理事の東上に依り大體事業計畫が內定し、明年早々資本金七百萬圓の新會社を創設する事に決定した、目下東拓では企業形式、工場建設々計の諸項に就いてドイツのショーラーに照會中であるが、ショーラー法のパテントの買收は確定し、大體會社は過半數の四百萬圓を出資するに了解成立した 工場は二萬二千石單位の工場を三工場乃至四工場新義州に設置する筈であるが、原料問題が相當問題となるので目下本府林業課と折衝中である

朝鮮の養蠶 頗る好成績

最近內地の蠶系業者は一樣に經營難を叫んでゐるが、これは主として生系價格の暴落に基因し蠶生產費償ひ込みの悲鳴をあげつゝある有樣である、一方朝鮮ではかゝる懸念なきは勿論精繭一貫匁に對し一圓以上の報酬を得る極めて有利な狀態を示してゐる、即ち朝鮮蠶系部の調査に基く昭和十年度の蠶生產費は左の如くである（何れも對精繭一貫匁）

▲春夏秋蠶期 平均生產費一圓九十錢販賣價格三圓三十八錢勞働報酬一圓四十八錢

▲春蠶期 平均生產費一圓八十五錢販賣價格二圓九十三錢勞働報酬一圓〇八錢

▲夏秋蠶期 平均生產費二圓販賣價格三圓九十一錢勞働報酬一圓九十一錢

而して右生產費總平均は一圓九十錢（春一圓八十五錢、夏秋二圓）販賣價格總平均三圓三十八錢（春二圓九十三錢夏秋三圓九十一錢）にして差引純益總平均一圓四十八錢（春一圓八錢夏秋一圓九十一錢）をおさめたことになり養蠶は精繭一貫匁に對して總平均一圓四十八錢の純益を擧げた譯である

春肥の配合 約二百萬叺か

春肥需要期に直面し朝鮮農會の春肥配合は十一月二十七日新義州の配合所が配合を開始せるのを筆頭に、全鮮十一配合所が夫々配合を開始するに至つたが、各道の配合申込は四五日中に纏る筈である、本年は販肥を極力配合に根者へ使用せしめる方針であるため販肥購入は前年度より減少し、反對に配合肥料は前年度の一百七十萬叺を突破して二百萬叺に達する見込みである

輸出向果物の 規格統制 農會で決定

朝鮮農會では二日各道農會技術官の會合を催し火保共濟、果物出荷容器規格統制等に關し協議したが果物容箱は年間輸出向約百五十萬箱に達し、このうちリンゴ百十萬箱、梨二十萬箱其他は桃、葡萄等になつてゐるのでこの輸出向容器の規格を統制することに申し合せた

米國に新販路を 獨逸には共販會 好望のフイッシユ・ミール

獨逸向けフイッシユ、ミールは以前ノールエイより輸出してゐたものであるが、日本の進出により遂にノールエイを驅逐して斷然日本製品獨能となり、昨年の輸出は二百八十萬マルクに達してゐるが、本年は三百二十一萬マルクに上る見込みである

日本のフイッシユ、ミールの七割までが朝鮮製品でその價格に就いては重大な關心を持たれてゐるが、日本フイッシユ、ミール水產組合では從來各組合員がお互ひに亂賣戰を演じ、採算割れを見ることが屢々あつたのでこれが統制問題に就いて昨春以來各組合員及び輸出商の間に協議が進められてゐたところ、一方輸入國獨逸に於ては過般爲替管理法に基く輸入制限の適用により、來年七月末日までの輸入額を三百二十一萬マルクと限定するに至つたので、右組合の輸出統制問題は急轉、具體化し遂に最近に至つて全製產者及び輸出商六十四社が對獨輸出共販會なる統制團體を結成するに決定した

一方米國に對してこの問題の中心をなすものは生產業者側で日本食料、林兼商店、新興水產、輸出商側で三井、三菱、東洋物產、湯淺貿易、高島商店とされてゐる、尙は本年最初の注文として米國から業者の注文に約三萬トンの注文を受けたので既に二回に亘つて神戶から直送してをり、ドイツの輸出の一方に米國を新販路開拓市場として輸出することゝなつた、尙はミールの一トンの價は目下百圓からである

滿洲火保協會 臨時總會 設立を承認

【東京電話】滿洲國の火災保險の完璧を計るべく上京した在滿火保業者の代表者七委員は上京後數回に亘り內地業者側と會合して提案の〃滿洲火災保險協會設立及料率協定〃につき種々協議を行つたが其の間協會常務委員選出問題につき大小會社間に多少の意見の對立を見たが結局一社一票と云ふ事になつて纏まり、料率差額も廢除に……この修正を見る事になり內地側は全代表の兩委員からなる過般の臨時總會で滿場一致を以て全案を承認した之れによつて在滿火保界にも內地同樣の光明さが見出された譯であり、創立總會は新春中旬頃新京に於て行はれる模樣である

內鮮滿の間に 洋灰協定

【東京支社發】內鮮滿を包含する洋灰當業者の自治的協定は最近着々進められつゝあるが、その協定地域は、內地、朝鮮、滿洲國及び關東州の廣範圍に亘るもので、既に當業者間で各地域間の出荷協定がほゞ成立の見込もつくに至つた而して今回の協定は出荷協定のみにとどめることゝなつたが、大體年內には正式協定の調印もするものと見られてゐる

夕刊後の市況

實物最終氣配 王證調

了見越から買氣再燃し造船株鐵鋼株炭礦株一齊奔騰

朝鮮製鍊二三圓六朝鮮石油三四圓丁ドレッヂ鐵二七圓五全羅鐵新二二一圓五東拓五五圓三新二二圓二日滿アルミ六四圓三新二四圓五日滿亞麻二五圓七東海パルプ一四圓五東亞煙草八五圓四新六九圓二帝麻七〇圓五新二六圓三東京人絹五三圓五地下鐵三一圓丁新二六圓五小田急一五圓八帝都電東一一圓七商船新一六圓三川崎造船五五圓二新七五圓二第二新三〇圓三石川島九一圓五新七七圓三日產新二七圓三三菱鑛業一一四圓北新七八圓二北海炭礦七七圓二新五九圓三磐城炭礦五一圓五新二五圓八入山採炭七〇圓丁新四四圓丁九州炭礦一〇九圓丁新五二圓丁北樺太炭礦三六圓八東邦炭礦六四圓丁大平炭礦四一圓五ラサ工業一〇三圓五新五七圓五日石新四七圓丁北樺太石油四四圓三新四四圓丁旭石油六一圓五新二二圓七品川白煉瓦七七圓丁新三三圓二重化五六圓丁新四三圓丁合同油脂七四圓丁新四九圓四[illegible]新二七圓七國產工業八〇圓八新三〇圓五鋼管一新五二圓八第二新三八圓丁日本製鐵六八圓丁大島製鋼二五圓六德山鈑板五二圓四日立新一二三圓丁エタバイ新九圓九日本高工二五圓八

仁川穀物出入

▲廻着玄米五〇〇叺白米一、〇〇〇叺大豆二、五九二叺粟一〇、七九五石小麥五、〇〇〇叺▲移出玄米―白米四六〇叺同一〇、四九〇袋大豆二、四四六叺（四日）▲廻着玄米二、〇〇〇叺白米―大豆―粟七、八五五石小麥二一九叺▲移出玄米一、四〇〇叺白米五一四叺同―大豆一、一六六叺

大阪人絹現物

	百二十番	百五十番
帝人	六八、〇〇	六五、〇〇
旭	六四、五〇	六三、〇〇
東洋	六六、五〇	六五、〇〇
昭和	六六、五〇	六五、〇〇

スポーツ　インターミドルの 制度改革に就て（下）

京城帝大體育部常任委員　荒木外也

然らばインターミドルの制度を如何に改革するかゞ問題になつた、たとへば、廿歲以上の者は出場を禁ず、と云つた樣な年齡上の制限を加へる方法と、今一つは、出場選手を年齡により、一部、二部に分け競技を行はせる方法、以上二つの方法が考へられる、然し前者、即ち年齡上の制限は、特殊事情を多々有する半島に於ては、實に困難な問題であり、且又、大選手が出現した場合を考慮に入れ、前者を棄てゝ後者を採用することに決定した、即ち

數へ年十八歲以上を　一部

同　十七歲以下を　二部とし

優勝は一部、二部の合計點を以て決定す、一部、二部の境を數へ年十八歲と十七歲との中間に置いた理由は、前述の出場選手統計より推察して、大體に於て中學校の四年と三年とを以て境せんとした主旨に依るものである、この間往々にして一部、二部と分つたもの決して一部、二部の優勝に主眼を置くものではなく、從來ともすれば年長者に押へられ、惠まれなかつた若い選手に進出の機會を與へると共に、より大なる競技的興味を作り、學校體育の主旨に幾分なりとも近づかしめ、併せて眞の學生スポーツを樹立せんとするものである。

從つて低學年を主體とする二部よりは、從來の種目中より、トラックに於て五千米、高障碍、フキールドに於て棒高跳、鐵槌投の計四種目を除く豫定である。

尙ほ、以上の制度改革と共に本大會競技上の具體案に就いては追つて發表される筈である。

尙ほ、以上の制度改革と共に次の條件が加へられた。轉校生並びに原級に留りたる者は、其の年だけ出場を禁止す。師範學校講習科生は甲だけ許し、乙は禁止す。同じく中等學校補習科生の出場も禁止す。

たとへば、家庭の事情による轉校とか、病氣による落第とか云つた樣な、善意なる轉校生、落第生にまで適用したることは、誠に氣の毒ではあるが、從來屢々スポーツの爲め轉校の弊を耳にし、又學生の本分が勉強にある以上、學生スポーツ淨化の大局より考へ、轉校生並びに原級に留りたる者は、其の年だけ出場を禁止することになつたのである。

次いで師範學校講習科乙組に中等學校補習科生は、一旦中等學校を卒業した上、入學する性質のものである故出場を禁止された。

風水害義捐

朝鮮社會事業協會取扱　第八十報…三日現在

五百一圓八十三錢京都市長市村慶三（扱）▲二百六十四圓四十一錢陸軍造兵廠名古屋工廠職員▲三百十三圓東京市朝鮮キリスト教青年會館內朝鮮留學生同窓會▲三十二圓十二錢黃海道安岳郡守（扱）▲三十四圓七十錢樺太廳泊居支廳長（扱）▲三圓五十一錢羅州稅務署職員▲四圓二十錢吉林省華甸習通學校生徒金昌來外百廿四名▲五十錢京城地方法院金化出張所職員▲一千五百四十一圓二錢遞信局職員▲日計二千六百九十六圓二十九錢

累計　五十萬三千一百二十二圓四十三錢

最高の質、最低の價
安福石鹼
御愛用者に
只今、安福石鹼壹個御買上の方へ
大好評の髪洗ひ
オリヂナル・シャンプー
壹個づゝ
(定價五錢)
進呈
早く〳〵
賣切れぬうちに!
このお徳な買時を
逃がしては損!!
ORIGINAL SHAMPOO
MADE IN NIPPON
定價
壹個 拾錢
三個函入 卅錢
半打函入 六拾錢
本舗
東京市日本橋區水天宮前
株式會社 安藤井筒堂

花に濃淡あり 〔46〕

片岡鐵兵作　一木弴畫

駈引ならねど（四）

母親が反對するなら、家出してでも梅本のところに走らうといふ晶枝の決意も、どうやら、ぐらぐら付いて來たやうである。

母と喧嘩して、母を捨てゝ出るだけの勇氣が出なくなつてしまつた。

すつかり衰へた母、生きる力を失つて、蟷螂のやうな身體を今は只娘の晶枝によりかゝるだけの母――

晶枝は母を憎んだ。梅本との結婚を、自分の都合で反對する母に反撥した。けれども、病み衰へた

…つてゐるのだらうと思つたが、果して…朝早く雨戸を繰つて見ると、果して土も屋根も白々となつてゐる。

たうとう一睡もせずに夜を明かしてしまつた。

彼女は急いでお化粧を始めた。ふと、出勤前の梅本に會ひに行かうと思ひ詰めたのである。會つて、昨夜の母との諍ひについて話をきいて貰ひたい。母のことや自分の氣持やについて詳しく説明して梅本の諒解を得ておかないと一刻も心が安らかにならないのだ。梅本の口から、いつまでも待つ

…い願ひだらうか、いや、蟲のいい願ひならこそ、ぐつぐつ獨りで惱んでゐるうちに、大きな不幸が落ちかゝるやうな氣がしてならないのだつた。

一夜を惱み明かしたあとの頭は男の廣い胸に抱きかゝへられて「可哀想に」と、やさしい手でいたはつて貰ひたい。

母はまだ眠つてゐた。コオトを着、傘をさして、彼女はそつと雪のふる往來に出た。

電車は、出勤する人々を滿載し、窓は、雪の所爲、白蠟のやうに曇つてゐた。

やがて彼女は、梅本の家の前まで來た。すると、門の戸があいて、中から人が出て來た。

晶枝は、あつと叫んで立ちどまつた。出て來た人はまさしく女だ。麗子だ。こんなに朝早く、麗子が何故、梅本の家から、出て行く？

麗子も晶枝に氣がついた。そしてきつと晶枝を見据ゑた。降る雪の網目の中に光る瞳。

蛇の目の傘の重みを、晶枝は震へる手に感じた。

背中をさする手に、「いゝえ、梅本さんたんかと結婚することは決して許しません」と云ふ母ぶつた聲と一緒に、母の深い悲しみが感じては、憎しみ以上の憐れみで、心が裂びる思ひだつた。

せめて母が病床から起き上るまでは、母の側にゐて上げよう。――それまで梅本に待つて貰ふのはあれほど、梅本に強く誓つた手前心ぐるしいことなのだが、しかし勿論梅本は、母よりも物の理解が分るのに識ひないのだから、こちらの氣持ちを曲げて取る心配はない。

母の背中をさすりながら、たうとう激しい口論までして、晶枝は自分の寢室に退いたが、母を云ひ負かしたとて今更何にならうと、ただ淋しいだけである。勝つた者の方が無茶になつてしまつた物を、どんなに惡んでも、結局背くことの出來ない娘の爾當を、泣いても泣き切れないのだ。

梅本に濟まない。あやまらなければならぬ。梅本に許して貰はれたなら、許さない、と云ふことは出來ない事だ。お前の母を捨てゝとは口が曲つても云へないに違ひない。それだけに、梅本には一層すまないのだ。

寢床の上で、晶枝は身悶へした。眠られない。しんしんと更けて底冷えのする晩には、きつと雪でも

と云ふのを聞きたいのだつた。いつまでも晶枝を待つて、決して大學の娘などに心を傾けないといふしつかりした誓約を梅本の口からききたい――あゝそれは、蟲の好

ラヂオ

寄席中繼 ……神樂坂演舞場より…… 八時二七分

一、松山鏡　三遊亭圓生

昔、伊豫の國大宿の在に庄作といふいたつて親孝行な百姓がゐた。或る時御領主に呼び出されて御褒美を下されることになつたが、當人は何も欲しいものはありませぬ、たつて下さるとならば死んだ親父を頂き度いと申上げる。御領主はいろいろお考へになつた揚句、庄作が亡くなつた父親に生寫しなのをさいはひ、濁猿に秘めて置いた鏡を出して、父親に會ひたければこの鏡を見ろと、庄作に下される。そして女房たりとも見せてはならぬと言ひ渡される。

庄作は二階の長持に大切にしまひ朝夕取出して自分の顏に挨拶をして喜んでゐる、ところが夫の樣子が餘りそわそわしてゐるので、女房が怪んで、或る日そつと長持をあけて鏡をとり出して見ると、中に女がゐるので、びつくり仰天、たちまち悋氣ひしで鏡を相手に喧嘩を始める、そこへ亭主が歸つて來て夫婦喧嘩がはじまる、ところへ比丘尼が仲裁に入り、長持の中の女に事情をきいて見ようと二階に上り鏡を見ると、自分の顏がうつる、「下へおりて來て夫婦に向つて「お前さん達があんまり酷い喧嘩をしたので長持の女が面目ないと坊主になつた」

二、皿屋敷　橘家圓藏

姬路の皿屋敷に今以て幽靈が出るといふのを年寄りからきいて、若い者が連れ立つて見物に行くと、話に違はずお菊の幽靈が出る。九枚迄きくと、きつと死ぬといふので六枚位聞いてみんな逃げてしまふ。評判大變な見物にくり出すので、土地の興行師がきいて、芝居の幽靈はあるが、本物は見たものがない、土地繁昌のためにもなるといふので、大々的に宣傳して一週間の興業をする。又それが珍しいといふので幽靈の實況放送をすることになる

三、福引娘　柳家小さん

賣り出しの景品も、あまりありきたりだと客がよらないといふので賴るつきの美人を一等景品に出すことにする。お客は金をつかつて要りもしないものを買ひ込んで行く。或る幸運な男が遂に一等をひき當て、幸ひ獨身のことゝて、其の景品の美人と結婚することになる。祝言の晩に、どうしたはずみか花嫁さんのかぶつてゐる笠が落ちる。みると花嫁の頭はカラヤカン、それで男は「いくらなんでもカラヤカンてのはひど過ぎる、お前のためには隨分お金を使つてゐる、それでもお前は一等なのか」と大いに憤慨すると「いゝえ、妾は特等（禿頭）です」

四、三國誌　三升家小勝

蜀の關羽はたつた一人の驍を從いて大勝利を得た。關羽が魏の曹操の許に厄介になつてゐる時に、蜀國と戰爭がはじまり、關羽は曹操の陣營に報いるために戰場に出て敵の猛將を二人忽ちまちのうちに討とつてしまふ。曹操が大いに感心すると、この時關羽は「俺の弟の張飛はもつと強い」と言ふこれが蜀での後關羽の兄の玄德と曹操が戰爭をして玄德大いに破れ、八十萬の大軍におつかけられた時に、弟の張飛が「張飛こゝにあり」と怒鳴ると關羽の轡に

詩吟　鶴田旭窓　後二時四〇分

一、峨眉山月歌　李白・作
峨眉山月半輪の秋、影は平羌江水に入りて流る、夜淸溪を發して三

掛合噺　モダン膝栗毛　たぬきや金朝　外囃子　連中

彌次郎兵衞、喜多八のモダン道中トラックで町へ送られ、田舍芝居を觀る。劇中劇は籠山のお初と忠臣藏のお輕、先代萩の男之助で愛讀よろしく江戶の馬田舍芝居で人となるおかしみ、五もく芝居の幕が眼を牛と踏みかへて「ねの年はもうしまひ」

日曜勤行　京都市淨土宗總本山知恩院本堂より中繼　前一〇時…

法話　罪と覺め　淨土宗教務部長　高山龍善

唯今のおつとめは佛名會と申しました。年の暮に、過去、未來、現在三世、三千の佛名を稱へ奉つて禮拜する懺悔式であります。我國では天長七年十二月宮中淸涼殿でおつとめになつたのが始まりであります。御來朝野を擧げて年中行事の一つとなつたもので今に民間では不相變勤めてをりますが、只今は淨土宗の御式によつて南無阿彌陀佛の御名を稱へて一切の罪を許させ給へと禮拜の誠を運ばれたのであります。罪がなければ人みな神であり佛であるが我等凡夫は殘念ながら罪の子である。罪ある身と氣付くときこそ信仰に入り來るる第一歩である。「地に依つて倒るるものは地に依つて起つ」我等は茲に懺悔し了つて拭はれた如き淸らかな心持で成るだけ明るく正しく朗らかに新らしき年を迎へられんことを希望します

浪花節　梶川與惣兵衞の改心　後一時二〇分・木村友春

淺野内匠頭が殿中で吉良上野介を刄傷した時抱き止めた功によつて御加增となつた梶川與惣兵衞は、上役方に廻禮りに步き、第一に老中月番秋元但馬守の役宅に赴くと、曾我物語を引いてのそれとなき諷見、次いで訪れた土屋侯でも臨から御叱り、三番目に來たのが稻葉侯の役宅、稻葉侯は田村屋敷の切腹の物語りをする、内匠頭が愈よ切腹といふ日、が此の世の御別れ出たところ、伊達の櫻縁の根元に片時刻が來て水色の祥と宣出た内匠部が輕くひき、あ花の散り際の良さす態を眺めると、伏して與方樣へ御ると、た只内藏之たと申上げ、ば、強いばかりが武士ではあるまいかあり、義もあり、見に初めて覺つとなつて内匠頭のといふ一席

琵琶
一、薩城客舍　龜井南溟・作　峽に向ふ、君を思へども見えず渝州を下る
二、誰が家の絲竹か空明に散ず、夜月南浜波殿樓に迴る夢後の情、…かす、秋は高し一百二の郡城
三、冬夜讀書　菅茶山・作　雪は山堂を擁して樹影深し、擔鈴動かず夜沈々、閑かに亂帙を收めて疑義を思へば、一穗の青燈萬古の心
四、貧交行　杜甫・作　手を飜せば雲となり手を覆せば雨紛々たる輕薄何ぞ數ふるを須ひん君見ずや管鮑貧時の交、此道今人棄てゝ土の如し

六日（日）第一放送

- 午前七時五一分（東）ラヂオ體操
- 同八時一〇分　今日の天氣見込（京城・釜山）
- 同九時一五分　氣象通報（今日の天氣見込・釜山）
- 同九時三〇分（東）ラヂオ世界見物（綜）蒙古　テキスト・四ページ　村田孜郞
- 同一〇時（京）日曜勤行＝淨土宗總本山知恩院本堂より中繼＝
  一、三千佛名會法要
  導師　岸　佐藤　循道 外・山大衆
  二、法話　罪と覺め　高山龍善
- 同一〇時四〇分（東）講演　悦び への道　淨土宗教務部長　高山門講　竹内
- 同一一時一〇分（東）講演　武部の動靜再題
- 同一一時四〇分（大）海外市況　維新史料編纂官　藤井甚太郎
- 正午（東）時報
- 午後零時三〇分　ニュース
- 同五〇分　滿洲より（新京）講演　滿洲の產業に就て
- 同一時二〇分（東）浪花節　梶川與惣兵衞の改心　木村友春
- 同一時五五分（東）掛合噺　モダン膝栗毛　たぬきや金朝　外囃子　連中
- 同二時二〇分（東）御殿中繼……
  演奏　ミリオン管絃樂團　指揮　河合太郎
  一、はつきりしてよ　鹿藏しの　作詞作曲（大宮）二、いへぬ言葉　高田保作詞、山田武作曲（大宮）三、聞かぬパラシュート　高田保作詞、橋本成美作曲（小野）四、步哨なりやこそ　松村又一作詞、大村能章作曲（小野）五、どんと來い　松村又一作詞、大村能章作曲
- 同二時四〇分（東）詩吟　鶴田旭窓
  一、峨眉山月歌（李白作）二、客中作（龍井南溟作）三、冬夜讀書（菅茶山作）四、貧交行（杜甫作）
- 長唄（イ）唄　岡田　三味線　宮川　かつ　二、文屋くづし　三、浦安寺　四、逢で生れて　一、六歌仙　二、薩摩さ　小林京美子　四、鞭とからす
- 同三時五〇分（東・大）吹奏樂と喇叭鼓樂（第二回吹奏樂コンクール優勝團體）
  東京府立第一商業スクールバンド　指揮　廣岡九一
  （東京）一、吹奏樂　（イ）行進曲「武學生」（ロ）…
  婚禮の歌　二、喇叭鼓樂　東京府立第一商業學校喇叭鼓隊　指揮　上山要次郎
  （イ）行進曲（ロ）剛健（ハ）野の鋼　枝盛
  三、吹奏樂　東京石川島造船所自衞吹奏樂團　指揮　野中　經雄
  （イ）序曲「天色の思惑」（ロ）行進曲「石川島」
  （大阪）四、喇叭鼓樂　神戸喇叭修得團　指揮　齋藤二三男
  （イ）剛健　ガドウン　ヌ作曲（ロ）行進曲「美しき故鄉」　齋藤二三男編曲
- 同四時　ニュース（氣象通報・釜山）
- 同六時（綜）ラヂオ・スケッチ　福岡への旅
- 同六時二五分　ニュース・天氣見込
- 同七時　トゥルゲネーフの散文詩・トゥルゲネーフ作・神西淸譯（チャイコフスキーの音樂に縫ひとられたる）　伴奏　ヴァイオリン
- 同七時三〇分（東）朗讀　長門美保
- 同七時五〇分（東）長唄　吾妻八景
  唄　松永鐵之佑　唄　松永和五郞　唄　松永和兵衞　三味線　杵屋五三郎　三味線　杵屋五叟
  （イ）雀（ロ）出會ひ（ハ）我行きぬ（ニ）エピローグ（音樂）

第二放送

- 午後零時五〇分　鷗山夜馬外
- 同一時二〇分　レコード音樂　鄭　瓊善
- 同六時　コドモ興商物語　成東昌
- 同六時二五分　心田讀設講演　安　寅植
- 同七時三〇分　ファース四ツ　申　不出
- 同八時　女聲合唱　梨花部グリークラブ
- 同八時二五分　普徑　李彦植外
- 同八時五五分　連續唱劇調（第一夜）丁　貞烈
- 同一〇時　鮮滿交換放送（朝鮮より）
- 同八時二〇分（東）寄席中繼＝神樂坂演舞場より中繼＝
  一、松山鏡　三遊亭圓生　二、皿屋敷　橘家圓藏　三、福引娘　柳家小さん　四、三國誌　三升家小勝
- 同九時三〇分（東）時報、ニュース、氣象通報、地方へのニュース、翌日の番組、翌日の番組（釜山）
- 同九時五〇分　ニュース（朝鮮語）
- 同一〇時　鮮滿交換放送（朝鮮より）京城
  ヴァイオリン獨奏　桂貞植　ピアノ伴奏　朴　震淑
  一、ラ・フォリア　コレリー作曲　二、軍隊聯奏曲、作品十六ペリオ作曲

あすの聞きもの　七日（月）

- 午前八時五五分（東）小學生の時間　綴方朗讀　司法大臣　林　賴三郎
- 同一〇時三〇分（大）家庭講座　寒さと耳鼻咽喉の病氣　山川强四郎
- 午後零時五分（城）俗曲　三味線　松　奴
- 同零時三〇分（東）國民歌謠（京城・釜山）
- 同六時　童謠　齋藤　翠枝
- 同六時　歌とピアノ獨奏（平壤）伴奏　伊藤とし子
- 同六時二五分（城）講演　平壤公立高等女學校生徒
- 同七時三〇分（東）講演「君が代」制定と內鮮のエピソード　金澤　忠雄
- 同八時（東）ヴァイオリン・ピアノ・獨唱（音樂コンクール優勝者三名）陸軍中將　磯谷　廉介
  勢と陸軍々備　陸軍省軍務局長
- 同八時三〇分（大）義太夫　歌祭文（野崎村の段）竹本　綾助
- 同九時（東）連續講談　宮本武藏　神田　伯龍

威海衛、芝罘、大連行 ……
鎭南浦、大連、天津行 ……
尼崎汽船出帆 ……
高杉商店回漕部 ……
內鮮運輸出帆 ……
大和組回漕部 ……
朝鮮海洋社 ……
浪速汽船出帆 ……
公示催告 ……
京城地方法院 ……
大阪商船出帆 ……
朝鮮郵船定期出帆 ……
近海郵船仁川出帆 ……
沿岸郵船出帆 ……
嶋谷汽船出帆 ……
京城支店　**國際運輸會社**　**釜山商船組**